



報道関係各位

2020年7月1日

** ホームページでも確認できます **

桃太郎トマト 県内トップ産地が本格稼働！ JA 晴れの国岡山びほくとマト部会 出荷進発式

取材に来てね！



- 主催：JA 晴れの国岡山びほくとマト部会
- 日時：2020年7月9日（木）午前10時30分～（約1時間半程度）
- 場所：JA 晴れの国岡山びほくとマト選果場
〒716-0302 岡山県高梁市備中町布瀬 1657-1（0866-45-4141）

岡山県の夏秋トマトの季節となりました。当JAのびほくとマト統括本部管内は、県内産地の約6割を占めるトップ産地。担い手育成にも力を入れ、他産地をけん引する存在として「キラリと光る産地」を目指し、今年も12月初旬まで長期出荷を行います。出荷好調を願い、出荷進発式を行いますので、取材をお願いします。

■当日のスケジュール

- ・別添スケジュールをご参照ください。
- ・参集範囲・・・行政・市場関係者・部会員・関係機関など総勢約70名

■「天空の実り（R） 鬼退治 桃太郎トマト」について

JA 晴れの国岡山びほくとマト部会は、マーケティング事業にも力を入れ桃太郎伝説にあやかり、管内のトマトを「天空の実り（R） 鬼退治 桃太郎トマト」とネーミングをつけ売り出していきます。今年はラジオやテレビ出演などPR活動を積極的に行い、出荷箱もネーミング入りのものに変更する計画です。

「鬼退治 桃太郎トマト」は、7月から11月まで収穫する夏秋栽培。中山間地特有の昼夜の寒暖差に敏感に感じ、甘みと栄養が増します。最もおいしい時期は、10月。昼夜の寒暖差が大きくなるこの時期、かん水も抑えるため、甘みがぐんぐん増し、まさに「おいしい！」トマトを味わえます。おいしさが増す時期と語呂合わせから、10月10日は「岡山県産桃太郎トマトの日」として認定されています。

■JA 晴れの国岡山びほくとマト部会概要

- ・部会名：JA 晴れの国岡山びほくとマト部会 / 部会長：仲山潔俊部会長（なかやま・きよとし）
- ・部会員数：75人 / 栽培面積：11.6ha
- ・2020年度目標 販売数量 1,350t / 販売金額 4億5,000万円
- ・品種：桃太郎トマト
- ・初出荷日：6月19日（金）←昨年実績6月28日

【発信元】

JA 晴れの国岡山 総務部総務企画課
広報担当 別所和実
携帯 080-8235-3910
〒713-8113 岡山県倉敷市玉島八島 1510-1
TEL：086-476-1830 FAX：086-476-1840
Email：hareoka_kouhou@hr.oy-ja.or.jp

【問い合わせ先】

JA 晴れの国岡山 びほくとマト統括本部
びほくとマト広域営農経済センター販売課 担当 梶田
〒716-0045 岡山県高梁市中原町 1383
TEL：0866-22-4593 / 090-8995-6601



ホームページはこちら→

JA晴れの国岡山びほくトマト部会 出荷進発式 次第

日時： 令和2年7月9日（木）
午前10時30分より

場所： JA晴れの国岡山
びほくトマト選果場

1 開会

2 あいさつ

JA晴れの国岡山びほくトマト部会 仲山部会長

JA晴れの国岡山びほく統括本部 中村地区常務

3 来賓あいさつ

4 令和2年度トマト生産販売計画について

5 市場情勢、産地に対する要望事項について

6 がんばろうコール

7 テープカット

8 閉会



JA晴れの国岡山びほくトマト部会

令和2年度 JA晴れの国岡山びほくトマト部会 生産販売計画

1. 生産販売計画

	面積 (畝)	人員 (人)	販売数量 (t)	販売金額 (千円)	単価 (kg/円)
令和2年計画	11.6	75	1,350	450,000	346
令和元年実績	11.8	72	1,110	356,170	321
対比(%)	98.3	104.2	121.6	126.3	107.8

2. 生産技術対策 (生産技術対策班)

目標：10a当り11トン以上

『やりがい』と『ゆとりある』うまいトマトづくり

- 適期講習会の実施

時期	項目	摘要
3月中旬	育苗講習会	健苗の育成
6月中旬	管理講習会	追肥 灌水開始時期
7月中旬	管理講習会 出荷講習会	5段開花時の草勢管理
8月下旬	管理講習会	秋冷期の草勢管理

- 早期出荷 早期作型：3月下旬播種 7月初旬出荷開始
中心作型：4月上旬播種 7月中旬出荷開始
- 高温時の生産技術の向上 9月10月の出荷量、品質の向上
定植後のおとなしい草勢管理と摘果の徹底
リフレッシュ栽培技術の向上
裂果対策 着果促進対策 施肥灌水量の検討
- 栽培管理日誌の記帳と確認 GAPの取り組み(健康管理、労働安全)

時期	項目	摘要
6月	GAP全戸点検	栽培管理日誌全戸点検
12月	GAP抽出点検	栽培管理日誌全戸点検

- 養液土耕栽培 マルハナバチの積極的な利用
- 『やりがい』と『ゆとりある』集約的省力栽培体系の検討

3. 流通販売対策（流通販売対策班）

目標：販売単価の向上

- ・食味を重視した『びほく天空の実り 鬼退治桃太郎トマト』の販売強化
- ・集出荷体制（予冷設備）の機能強化
時期別着色程度の徹底
選果基準の確認と出荷終盤の品質管理の徹底
予冷機能を生かす週末出荷ウエイトの向上と出荷調整
契約販売の取り組み拡充と販売企画への柔軟な対応
出荷アイテム別、規格別重点市場への集約出荷
- ・的確な市場情勢の把握、産地情報の収集と提供を検討
市場販売督励・出荷進発式・販売中間検討会・生産販売反省会等の開催
早期分荷数量の報告と中長期的産地情報の提供（産地情報の精度向上）
- ・柔軟な出荷アイテムへの対応
小箱（1kg）・スタンドパック・熟等
外品を利用した加工品の検討

4. 出荷形態別構成

出荷形態	令和2年度 計画		令和元年度 実績	
	重量%	数量（トン）	重量%	数量（トン）
4kgダンボール箱	71.2	961.0	71.6	795.0
1kgダンボール箱	11.1	150.0	12.2	135.0
スタンドパック	2.0	27.0	2.6	29.0
外1kg袋詰め	15.7	212.0	13.6	151.0
合計出荷量（t）	100.0	1,350.0	100.0	1,110.0